

平成11年度における宇宙開発関係経費の見積り方針の一部変更

平成10年8月28日
宇宙開発委員会決定

「平成11年度における宇宙開発関係経費の見積り方針」（平成10年8月5日 宇宙開発委員会決定）のうち、第22号科学衛星（SOLAR-B）に関する見積り方針を変更し、下記のとおりとする。

○宇宙科学の分野

・開発研究

第22号科学衛星（SOLAR-B）の開発研究

太陽表面の微細磁場構造とその運動を高精度で観測し、太陽大気（コロナと彩層）の成因とフレアなどの太陽活動の原因を解明することを目的とした、第22号科学衛星（SOLAR-B）をM-Vロケットにより、平成16年度頃に打ち上げることを目標に開発研究に着手する。

○宇宙インフラストラクチャーの分野

〔輸送系〕

・開発

M-Vロケットの開発

第22号科学衛星（SOLAR-B）を平成16年度頃に打ち上げることを目標に、引き続き開発を進める。

平成11年度における宇宙開発関係経費の見積り方針（追加）

平成10年8月28日
宇宙開発委員会決定

平成11年度に着手する案件
打上げ（注）

① 運輸多目的衛星2号の打上げ

航空交通の安全性と効率性の向上を目的とした航空管制業務のための航空ミッション（航空航法を含む）機能及び気象業務の推進を目的とした気象観測等のための気象ミッション機能を有する複合型非研究開発衛星（運輸多目的衛星2号）の調達に着手し、平成16年度を目標に静止軌道に打ち上げる。

（注）「開発プログラム及び研究」以外のもの